

JIS

ばね用語

JIS B 0103 : 2015

(JSMA/JSA)

平成 27 年 12 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所
	浅 井 邦 裕	オーエスジー株式会社
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大 西 賢 治	大阪機工株式会社
	川 井 謙 一	横浜国立大学
	渋谷 眞 人	東京工芸大学
	千 葉 誠	一般社団法人日本フルードパワー工業会
	長 塚 淳	株式会社ニコン
	平 井 亜紀子	国立研究開発法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 34.12.1 改正：平成 27.12.21

官 報 公 示：平成 27.12.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ばね工業会

(〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町 12 MH-KIYA ビル TEL 03-3251-5234)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 分類	1
3 用語及び定義	1
附属書 A (参考) ばね用語の分類ツリー	52
参考文献	63
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	64
解 説	65
索 引	71

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ばね工業会（JSMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 0103:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ばね用語

Springs—Vocabulary

序文

この規格は、2009年に第1版として発行されたISO 26909を基に、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない用語及びその定義も日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、ばね用語（以下、用語という。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 26909:2009, Springs—Vocabulary (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 分類

用語は、次の7分類とし、附属書Aに用語の分類ツリーを示す。

- a) ばね基本
- b) 用途
- c) 形状
- d) 構成部品又は部分
- e) 設計
- f) 製造
- g) 試験及び検査

3 用語及び定義

この規格で規定する用語及び定義は、次による。

なお、参考のために慣用語、対応英語及びばね記号を示す。

注記 1 用語の下括弧内は、読み方を示す。

注記 2 対応英語欄に太字で示された用語は、ISO 26909で規定されている用語を示す。

注記 3 番号に点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にない用語及び定義を示す。